

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
 【現地駐在】TMB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)
 HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、AGS JOINT STOCK COMPANY (ベトナム・ホーチミン)



【釜山支店】

韓国リモート（非対面）ビジネス戦国時代 ～前編～

1. はじめに

2020 年も半年が過ぎますが、これ程世界中の環境が変化した年は過去に例がないかもしれません。世界中が新型コロナウイルスによる影響を受けており、各国政府は矢継ぎ早に感染拡大防止のための施策を打ち出しています。日本においては、「新しい生活様式」をキーワードに、3 密（密閉、密集、密接）を避けながら経済活動の再開を模索しています。

韓国では、感染状況が欧米と比べ限定的であったことから、日本と同様、人と人との密集を避けながら経済活動の再開を進めており（2020 年 6 月時点）、人と会わずにコミュニケーションを取るという意味の「アンタクト（un-contact）」という造語も生まれています。

このため、あらゆる分野でオンライン機器やサービスを活用したリモート（＝非対面）対応を迫られている状況にありますが、それ故に想像もできなかったようなビジネスチャンスが生まれています。今回は、韓国におけるリモートへの取組状況を概観し、リモートを前提とした新たなビジネスの可能性について、お伝えしていきます。

【図表 1】韓国政府系機関のリモート対応状況

2. 韓国政府の対応

韓国は、2000 年代から国策として IT 化を進めていたため、インターネットの普及率が高く、オンラインを利用した活動は既に成熟状態にありました。しかし、実際に会うことを重視する文化的背景もあり、特にビジネス・教育現場において、リモートでの対応（面談や授業など）は敬遠される傾向にありました。

出典：各機関ホームページほか（筆者編集）

機関名	主な対応
大韓貿易投資振興公社（KOTRA）	オンラインによる個別商談会開催
教育部	オンライン授業の推進
韓国観光公社	オンラインによる旅行 PR
雇用労働部	オンライン青年就職センターのサービスを強化、リモート就職を支援

今回、新型コロナウイルス予防のため、2020 年 2 月中旬から学校は休校となり、国を跨いだ移動も限定的になっていることから、対面での活動が実質的に困難になっている状況にあります。

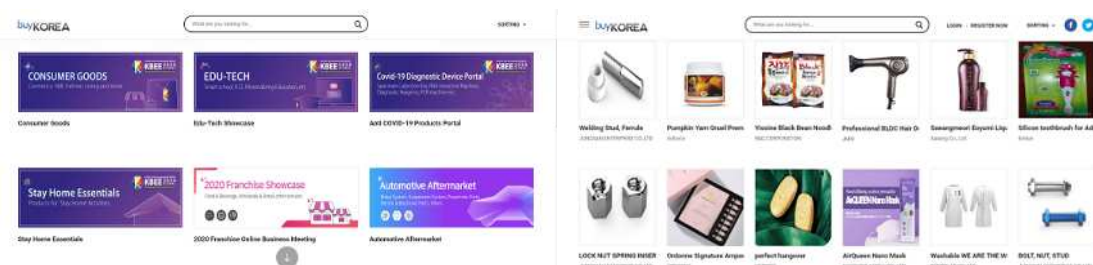
したがって、韓国各政府機関は、リモートを前提とした政策を進めています。例えば教

育部（日本で言う文部科学省）では、感染予防と教育機会の確保を両立するために、オンライン授業による始業に踏み切りました。2020年6月現在では順次登校が再開されているものの、今後の感染再拡大を見越し、登校授業と遠隔授業を組み合わせる「融合授業」（blended learning）の取組を進めていく計画です。

ビジネス面でもリモート対応支援が広がっています。大韓貿易投資振興公社（KOTRA）では、輸出・輸入企業支援のためにオンライン商談会を随時受け付けています。通信環境はすべて KOTRA がセッティングし、通訳も KOTRA から派遣されるため、経験の浅い企業でも安心して商談に臨める仕組みとなっています。

さらに、業界団体などが主催する展示会も、リモートでの商談を実現するため、現地での展示とオンラインによる商談を組み合わせたものが主流になってきています。

【図表2 オンライン商品展示の様子】



出典：大韓貿易投資振興公社（KOTRA）ホームページ

3. 企業の取組み

民間企業においても、「アンタクト」社会に対応するために、財閥系企業を中心として競い合うように非対面サービスの強化を図っています。

家電を中心に事業を展開する LG グループは、自社の通信インフラを活用し、U+ビデオ会議（オンライン会議システム）サービスを開始しました。最大 1,000 人までの参加が可能なシステムとなっており、大手の法人や学校の利用を想定しています。

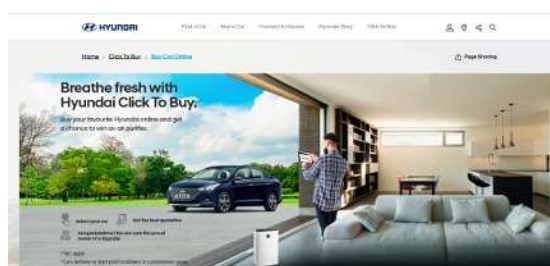
韓国を代表する完成車メーカーである現代自動車グループは、インド向けオンライン自動車販売サービス「クリックトゥバイ」を開始しました。当初は主力市場であるインド国内のロックダウンを受けての緊急対策でしたが、ローン機能を組み合わせることにより完全リモートでの取引を実現したことから、今後他国でも展開する可能性を秘めています。

【図表3】U+ビデオ会議イメージ



出典：ネイバーニュース

【図表4】「クリックトゥバイ」サービスの様子



出典：現代自動車（インド）ホームページ

また、韓国通信事業者大手 KT グループは、教育（資格取得）大手エデュウィルと提携し、通信量を気にせず、資格試験に合格するまで無制限で受講可能な商品を発表しました。タブレット端末販売と抱き合わせて営業していくことにより、今後増加が見込まれる通信教育市場攻略に乗り出しています。

4. おわりに

以上のように、韓国では官民を挙げて「アンタクト」実現のために、リモートで事業を完結させることができるよう、様々な工夫を凝らしています。

このリモート活動の推奨により、思わぬ効果が生まれています。例えば、商談会や採用活動がリモートで行われるようになった結果、現地に赴かずとも活動することが可能になりました。すなわち、わざわざ海外出張というコストを掛けなくても、気軽に海外ビジネスに挑戦できる機会が増えているのです。

人の動きは依然制限的な状況にあるものの、モノの流れ、そしてデジタル化の流れは劇的な速さで進んでいます。この変化に負けないよう、当店では皆様のお役に立つ情報提供に努めております。韓国ビジネスに関して、お困りごとがありましたら是非当店へご相談ください。

次回、韓国リモートビジネス戦国時代～後編～では、実際のリモート商談会実施状況（メリットやデメリットなど）や、韓国における働き方の変化についてお伝えいたします。

（山口銀行釜山支店 小林 正典）

【ご参考 韓国における感染症対策の推移】

時期	政府の対策
2020 年 2 月 23 日	感染症危機段階を「深刻」に引上げ
2020 年 3 月 9 日	日本に対する査証免除の停止（＝入国制限の強化）
2020 年 3 月 22 日	外出・集会の制限（不要不急の外出禁止）を発表
2020 年 4 月 1 日	全世界からの入国者に対し 14 日間の隔離を義務付け
2020 年 5 月 6 日	防疫と経済活動の両立を目指す「生活防疫」政策へ移行

出典：ニュース記事（筆者編集）

【参考文献】

オンライン商談会サイト「buy korea」

<https://www.buykorea.org/onlineshowcase/home.do>

ネイバーニュース「LGU+、U+ 映像会議サービスを発表」

<https://www.fnnews.com/news/202006211025111810>

アジアタイムズ「現代自動車、インドでのオンライン注文順調」

<https://www.asiatime.co.kr/news/newsview.php?ncode=1065593111091137>

ワークトゥデイ「KT、エデュウィルとオンラインコンテンツ開発」

<http://www.worktoday.co.kr/news/articleView.html?idxno=8291>

全北日報 ポストコロナ特集

<http://www.jjan.kr/news/articleView.html?idxno=2081647>

教育部 今後の教育方針についての談話

<https://www.moe.go.kr/boardCnts/view.do?boardID=294&boardSeq=80934&lev=0&searchType=null&statusYN=W&page=1&s=moe&m=020402&opType=N>